

平成28年 第9回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

平成28年 第9回宮崎市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成28年7月27日(水) 13:40～14:50

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

二見教育長、松野代表教育委員、藤元委員、崎田委員、畠山委員

【事務局】

小泉教育局長

(企画総務課) 時任課長、山本補佐、宮畑主幹、久保係長
田中主査、茂田主任主事、三角主事

(学校施設課) 長崎課長、大住補佐

(学校教育課) 松竹課長、押川補佐、岡留補佐

(教育情報研修センター) 荒武所長

(生涯学習課) 染矢課長、矢野補佐

(保健給食課) 横山課長、黒木補佐

(文化財課) 日高課長、小窪補佐

4 議案

番 号	件 名	説 明 者
議案第32号	平成29年度宮崎市立小中学校の入学式の期日について	学校教育課長
議案第33号	平成29年度宮崎市立幼稚園の入園式の期日について	学校教育課長

5 報告

番 号	件 名	説 明 者
報告第16号	第3回宮崎市地方創生推進本部会議 第3回宮崎市総合計画策定会議の報告について	教育局長
報告第17号	専決処分の報告について	学校教育課長
報告第18号	臨時代理について	学校教育課長

二見教育長	定刻になりましたので、平成28年第9回定例会を始めさせていただきます。
	本日の傍聴者はございません。
	会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私二見と、崎田委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
委員	はい。
二見教育長	次に、会次第「3 教育長及び委員報告」に入ります。1ページの資料1をご覧ください。(1)教育長報告はございません。
	次に、(2)委員報告でございます。 2ページの資料1-2をご覧ください。 まず1件目に、6月29日(水)に行われた「宮崎縣市町村教育委員会連合会要望活動」について、出席されました松野代表教育委員に報告いただきます。
松野代表教育委員	資料1-2でございます。会議名は「宮崎縣市町村教育委員会連合会要望活動」です。期日が6月29日(水)でした。場所は県の教育委員会室です。概要をご覧くださいと、県教育委員会に対しまして、宮崎縣市町村教育委員会連合会の来年度の教育施策に対する要望、これは県の施策に対してでございますが、要望書を提出してまいりました。私と、副会長である二見教育長、川南町の木村教育長の3名でまいりました。県教育委員会からは四本教育長、片寄教育総括次長、川越教育政策次長、坂元教育振興次長にご対応いただきました。特に要望事項で挙げましたのは、ここに記載しております5つでございます。特別支援教育推進のための条件整備について、地方分権に伴う人事異動の支援の在り方について、児童生徒数の減少に伴う学校体制の整備について、生徒指導体制の充実について、読書活動推進のための人的支援について、以上を要望事項として提出してまいりました。以上でございます。
二見教育長	ありがとうございました。次に、2件目に、7月1日(金)に東京都学士会館で行われた「全国市町村教育連合会副会長会議及び理事会」について、出席されました松野代表教育委員に、報告いただきます。
松野代表教育委員	資料の1-3でございます。東京都の学士会館で行われました、第1回副会長会議、第2回常任理事・理事会に参加してまいりました。概要につきましては、副会長会議では、常任理事会・理事会に諮る内容についての協議が行われ、午後からは、常任理事会・理事会と合同で文部科学省から行政説明を受けまして、最後に本年度の文教施策等に関する要望及び、本年度の事業計画案等について協議が行われました。以上でございます。
二見教育長	ありがとうございました。次に、3件目に、7月13日(水)に行われた「宮崎縣市町村教育委員会連合会総会」について、出席されました松野代表教育委員に、報告いただきます。
松野代表教育委員	総会につきましては、市の教育情報研修センターにおきまして、7月13日に開催させていただきました。出席者は二見教育長、それから私、木村川南町教育長を中心といたしまして、会を開催いたしました。概要につきましては、県下の勇退された教育委員の方々に功労者表彰が行われ、表彰状・感謝状の授与が行われました。来賓として、県の四本教育長にご臨席いただきました。議事では、昨年度の決算報

	<p>告、本年度の事業報告や予算案が審議されました。午後の研修会では五ヶ瀬町の教育長もされておられました県教育庁学校政策課の黒木補佐より、「本県の学力の現状と今後の取組」として、講演していただきました。なお、前日の12日に第2回理事会が開催されまして、この総会の内容についての協議が行われたところでございます。報告は以上でございます。</p>
二見教育長	<p>次に、1ページの(3)教育局長報告の「第3回宮崎市地方創生推進本部会議、第3回宮崎市総合計画策定会議」でございますが、これは「議事の報告」の中で報告させていただきます。</p>
	<p>次に、7月21日(木)から7月22日(金)にかけて行われた「平成28年度全国市町村教育委員会連合会事務局長会議」について、教育局長から報告をお願いします。</p>
小泉教育局長	<p>追加資料1をご覧いただきたいと思いますが、大分市で開催された平成28年度の連合会の事務局長会議に先週行ってまいりました。内容については、そこに主催、出席者等がありますが、出席されたのは47都道府県のうち、およそ27都府県でした。報告等が事務局からありまして、次に総合教育会議と、コミュニティスクールの設置についての議題を主として協議がございました。</p> <p>総合教育会議については、宮崎市でも昨年2回開催しておりますが、運営上の課題として各自治体から出た意見として、会議は原則公開でございますが、いじめ問題や貧困対策といった内容を意見交換している場合に、教育委員がそれぞれ持論を持っておられて、発言されたことについてマスコミの反応があったために、その処理に非常に事務局が苦労したという話がありました。ただし、市長と本音を語る必要があるということで、例えば新潟県越前市は、一旦総合教育会議が終わった後で、別途感想を述べ合う時間を設けるほか、懇親会も設けて、そこでより議論を深めるという形をとっているということでございました。一方、東京都立川市は、今度は市長側からの話でございますが、自分が話をされる中で、意見を集約しながら自分の意見を述べるというのが非常に難しいということで、別にファシリテーターに進行をお願いしているということでございました。そのような考えをお持ちの市長もかなりいらっしゃるということでございます。そういう工夫をされている中で、会議の回数について、一番多いところで6回、2ヶ月に1回開催しているところがございました。テーマに挙げるネタがつかまいませんか、と聞いたのですが、やっぱり、ある程度掘り下げてしまうと、次のテーマとなるものが出てこないという現状があるということでございました。</p> <p>それからコミュニティスクールの設置については、47都道府県のうち何らかの形で県内で設置しているのは26とのことでした。岐阜市は早々と平成20年度からこの制度を導入しているようすけれども、学校を統廃合することについて、文部科学省のモデル事業として実施しているところがある一方で、慎重な見方をしているところもでございます。宮崎市はまだ設置しておりませんが、静岡県藤枝市は、設置していない理由として、教職員の人事異動について意見を述べる部分に、現場に反対の意見が多いというような率直な意見があったということでございました。愛知県江南市を含む東海地域の北部地区は、任用などについては取り扱わないように内規で定めているようでございました。学校の独自性が損われないようにうまくやっているという自治体の事例もありますので、あまり先頭をきってやっていかな</p>

	くていいのではないかというお話もございました。
二見教育長	次に、1 ページの(4)各課行事等の報告でございます。7月26日(火)から28日(水)まで行われております、「川口市文化交流事業」について、事務局から説明をお願いします。
染矢生涯学習課長	資料の2になります。安井息軒顕彰・川口市文化交流事業につきまして報告いたします。昨日から埼玉県川口市の小学6年生20名、教育長と引率教諭6名の26名が本市を訪れ、宮崎市の児童21名と交流を行っております。この事業につきましてはご案内のとおり、清武町で生まれた郷土の偉人、安井息軒先生が1868年、明治元年に起こった戊辰戦争の戦火を避けて、現在の川口市に疎開したことが縁となっております。旧清武町時代の平成15年度からこの事業を実施しておりまして、これまで250名の子どもが参加しております。今年度で14回目になります。資料の表に7月のスケジュール、裏に8月のスケジュールを掲載しております。本日は宮崎での受け入れの2日目でございます、午前中に日南市の飢肥城下を見学し、現在生目の杜遊古館へ移動しているところだと思います。遊古館では勾玉作りやキャンドルの集いなどを行い、交流を深め、そのまま全員宿泊することにしております。また交流会では、宮崎市子ども会育成連合会に所属する高校生のジュニアリーダー3名にもお手伝いをお願いしております。そして最終日の明日は午前中に宮崎市長への表敬訪問を行った後、県庁の見学、物産館での買い物、そして宮崎空港ビルの会議室でみんなで最後の昼食をとり、見送るといった行程でございます。資料の裏をご覧くださいと思います。8月のスケジュールでございます。8月17日から19日の3日間になりますが、小泉局長に同行していただきゆかりの地を訪問します。2日目には川口市の領家小学校で川口市の使節団と再会し、交流する予定でございます。そのほか、浅草、慶應義塾大学、東京スカイツリー、築地場外市場の見学も予定しております。また、8月27日(土)には交流事業の発表会を清武総合支所で開催することにしております。以上でございます。
二見教育長	ただいまの説明に対して、ご質問はございませんか。
委員	なし。
二見教育長	ないようでしたら、各行事に参加された委員の方でお気づきになった点やこれからの課題、また感想等ありましたら、お願いいたします。
委員	なし。
二見教育長	よろしいでしょうか。それでは「4 議事」に入らせていただきます。
	本日は、議案が2件、報告が3件となっております。 では、まず議案でございます。 8ページをご覧ください。
	議案第32号「平成29年度宮崎市立小中学校の入学式の期日について」、議案第33号「平成29年度宮崎市立幼稚園の入園式の期日について」、一括して事務局から説明をお願いします。
松竹学校教育課長	それでは8ページの議案第32号「平成29年度宮崎市立小中学校の入学式の期日について」でございます。宮崎市立小中学校の入学式につきましては、宮崎市立学校管理規則第14条第1項の規定により、4月11日までに行うものとし、期日は教育委員会が定めることとなっております。平成29年度につきましては、春季休業日が4月6日(木)までとなることから、小中学校の始業の日が、翌日の7日(金)となります。こちらに暦がありますが、このようになってお

	<p>ります。ここが始業の日になります。したがって、小中学校の入学式については、10日が中学校の入学式、翌11日が小学校の入学式と計画したものでございます。この期日についてお諮りいたします。続きまして10ページをご覧ください。議案第33号は「平成29年度宮崎市立幼稚園の入園式の期日について」でございます。同じく入園式につきましても、市立幼稚園規則第8条第1項の規定により、4月12日までに行うものとし、期日は教育委員会が定めることとなっております。したがって、先ほどの小中学校の入学式を加味しまして、翌12日に幼稚園の入園式を行うものと考えたものでございます。説明は以上でございます。</p>
二見教育長	<p>ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>なし。</p>
二見教育長	<p>ほかに質問がないようでしたら、一号ずつ確認をしていきたいと思っております。まず、議案第32号「平成29年度宮崎市立小中学校の入学式の期日について」、ご承認いただけますでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
二見教育長	<p>ご承認ありがとうございます。</p>
	<p>次に、議案第33号「平成29年度宮崎市立幼稚園の入園式の期日について」、ご承認いただけますでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
二見教育長	<p>ご承認ありがとうございます。</p>
	<p>以上で、議案は承認されました。次に、報告でございます。まず、報告第16号「第3回宮崎市地方創生推進本部会議及び第3回宮崎市総合計画策定会議の報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
小泉教育局長	<p>それでは私から、7月20日（水）に開催されました「第3回宮崎市地方創生推進本部会議及び第3回宮崎市総合計画策定会議」について、ご説明させていただきます。表題、それから会議・行事名称、日時、場所、主催、出席者等は記載のとおりでございます。概要にあります1つ目の黒丸、第3回宮崎市地方創生推進本部会議でございますが、6月6日に専門部会が開催されたという報告がございました。内容は15ページからシートがありますが、これは教育委員会部分だけを出していますけれども、全庁的に、それぞれの進捗、あるいは問題点について協議がなされたということでもございました。特に教育委員会関係について、質問やご意見はいただいていたということでもございました。続きまして、資料の17ページでございますが、これは前回もお示ししております、第四次の総合計画と以前お話した地方創生総合戦略、みやざき共創都市圏ビジョン、この概略を示したものでございます。この間提示したものと同一内容となっております。15ページをもう一度ご覧いただきますと、黒丸の2番目、第3回宮崎市総合計画策定会議、これが2つ目の会議の内容ですが、第四次宮崎市総合計画についての評価・検証の説明がございまして、資料の18ページから20ページが教育委員会分の総合計画の政策評価シートでございます。総合計画は、第三次までは目標設定がない計画でもございました。第四次の計画策定時に初めて、最終年である平成29年度の目標数値を設定しようということになりまして、数字が出てきているわけでもございます。それについての反省や改善を踏まえて30年度からスタートする第五次総合計画を作りましょうという段階でもございます。例えば18ページの一番上に生涯学習課の事業があり</p>

	<p>ます。基本目標として自然と共生し快適に暮らせるまちということで事業がありまして、No.16の成果指標として、自然体験活動参加者数が挙がっております。参加した子どもたちの数が目標数になっていますが、10年経ってどうか、というようなことをございます。目標の設定のあり方もそうですし、事業の中身について捉え方がどうだったのかというようなことも反省しながら、次の第五次の総合計画に反映しなければならないというような話があったということをございます。生涯学習課の事業をみますと、平成23年度の現状値では、3,993人しか自然活動に参加する子どもがいなかったということですが、本当にそれしかこの時いなかったのかというと、これもまた問題ではないかという気がします。小学生33,000人という数字が全部ここに入ってきてもおかしくないと思います。教育委員会の予算を充てている事業の対象者がその人数だったからということではないかと思います。自然体験活動は、教育委員会だけではなく、環境部はもちろん、農政部でも事業を実施しています。それから合併していることから、地域に様々な予算があり、地域コミュニティ活動の中でも実施しています。そう考えますと、事業の捉え方を変えて、事業は一本だけでなく、類似したものを組み合わせたものが、基本目標につながっていくのではないかと考えます。そういう考え方でもう一回練り直していきましようかという話が行われたということになります。21ページをございます。これが次の第五次総合計画の基本体系でございまして、基本計画と基本構想がありまして、その右の方で、第五次総合計画は平成30年から39年までという説明になっております。21ページの下の方を横に見ていただきますと、地方創生総合戦略とみやざき共創都市圏ビジョンがベースになって、第五次総合計画を支えているということになります。22ページは、総合計画の基本構想の構成について、どのような流れで組み立てていくかということが図式化してあります。組み立て方は、地方創生の考え方を踏まえますと、やはり産業振興がベースになると思います。人口減少に対して、例えば観光・農業・商業面でどう対応していくかということはどうしても考えていく必要がございます。この点は地方創生あるいは都市圏ビジョンでも光が当たっていますが、本来人間が生きていくために必要な福祉や教育については、実際問題として、総合計画においては内容が薄くなっています。ですから総合計画を作る際には、その辺を十分留意した中で、教育委員会として組み立てていく必要があると考えます。あらためてみんなで認識をしている状況にありますので、これから十分に議論してまいりたいと思います。地方創生総合戦略の中身や構成を含めてお話ししましたが、以上で概要の報告とさせていただきます。</p>
<p>二見教育長</p>	<p>教育ビジョンも改訂時期に入りますが、教育ビジョンに描かなければならないことも多くありますので、総合計画と十分に整合を図っていかねばならないと思います。</p> <p>ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。また、お気づきになられた点はございますでしょうか。</p>
<p>松野代表教育委員</p>	<p>質問というよりも要望です。例えばこの16ページのA3を見ますと、耳慣れない言葉がカタカナで出てきます。これにつきましては、巻末か文末かに説明を加えていただかないと、なかなか理解が難しいと思います。例えば、16ページの左側の枠にMICEという言葉があります。マイスと読むんでしようが、このマイスというのは何のこ</p>

	とか分かりません。それから真ん中あたりのブランド力の向上の中に、ブラッシュアップですとか、アフターコンベンション、あるいはユニークベニュー、こういう専門用語といたしましうか、特殊な人でないと分からないような言葉がございます。やはり解説をつけていただくと助かります。
二見教育長	教育ビジョンの後ろには入っていますね。総合計画にも入っていると思いますが。
小泉教育局長	配慮不足で申し訳ありません。この言葉自体は、ブランド力の向上について観光サイドの人は全員知っている言葉になるんですけども、M I C E は、企業等の会議や展示会など、多くの集客交流が見込まれるイベントなどの総称で、アフターコンベンションは、いわゆるコンベンション後の催しや見本市、ユニークベニューというのは文化施設や公的空間等で会議を開催するというような意味でございます。次回からは、言葉の意味が分かるように工夫したいと思います。
二見教育長	それでは次に、報告第17号「専決処分の報告について」及び報告第18号「臨時代理の報告について」でございます。これにつきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第1項第7号により、非公開といたしたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	はい。
二見教育長	それでは、ただいまより、非公開といたします。
二見教育長	それでは、ここで非公開を解除いたします。
	次に、「5 その他」に移らせていただきます。
	委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いいたします。
委員	なし。
二見教育長	ないようでしたら、「総合教育会議」について、事務局から説明をお願いします。
時任企画総務課長	それでは、私のほうから総合教育会議について説明をさせていただきます。8月25日に予定しております総合教育会議のテーマにつきましては、資料の30ページになります。先にいただいております委員の皆様のご意見等を踏まえまして、市長と調整しました結果、ご覧のように、三つのテーマにつきまして協議をすることが決定したところでございます。具体的な内容といたしましては、市長から提案されたテーマといたしまして、1のキャリア教育についてが示されております。また、教育委員会からは、2の特別支援教育について、それから3学力向上・授業改善推進について提案いたしまして、了承されたところでございます。なお、すでにご案内しておりますとおり、8月23日にこのテーマにつきまして、事前の勉強会を開催しますので、よろしくをお願いいたします。以上でございます。
二見教育長	ただいまの説明に対して、ご質問はございませんか。 市長とは後日具体的な打ち合わせをする予定でございます。
委員	なし。
二見教育長	それでは「6 次回委員会の決定」について、事務局から説明をお願いします。
時任企画総務課長	次回定例会は、平成28年8月24日（水）午後1時40分から、清武総合支所内教育委員会室で開催することをご提案いたします。
二見教育長	提案のありました日時で、次回定例会を開催してよろしいでしょうか。
委員	はい。
二見教育長	ありがとうございます。

	<p>続きまして、「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>時任企画総務課長</p>	<p>31ページをご覧ください。8月1日から先ほど申し上げましたとおり、教育委員会事務局全てが清武の方に移転して、スタートするというになっております。8月1日、早速、清武の方で宮崎市教育委員会点検評価会議が開催されます。それから記載漏れとなっておりますが、8月2日(火)13時から第41回宮崎地区歯科保健大会、これは市民文化ホールの方で開催予定でございます。教育長が出席となっております。それから8月9日から10日にかけて、高木兼寛顕彰事業特別大使派遣として、教育局長が東京都に行く予定になっております。それから先ほど生涯学習課長から説明がありました川口市文化交流事業、今度は派遣の方でございますが、8月17日から19日にかけて、川口市への訪問ということで教育局長が出席されることになっております。8月23日(火)総合教育会議の勉強会を予定しておりますので、よろしく願いいたします。24日、教育委員会の定例会を開催予定でございます。続けてですが、25日に総合教育会議が予定されております。今回は本庁の特別会議室になっております。8月30日(火)教職員との意見交換会を予定しております。9月28日(水)が教育委員会定例会の予定でございます。説明は以上でございます。</p>
<p>二見教育長</p>	<p>以上をもちまして、平成28年第9回定例会を終了させていただきます。</p>